

城西川越の生徒の皆さんへ

3月2日に県からの要請を受け本校が休校になってから、3週間が経ちました。一連の混乱は未だ収束の兆しも見えず、世界全体が混沌としています。

突然日常が一変してしまって君達がどんなに不安な日々を過ごしているか、どれ程の困難を強いられているか、この3週間私たちはずっと胸を締め付けられる思いでした。君達の不安を拭い去ってあげられないこと、何より安全のためとはいえ誰もが当然与えられるべき教育を受ける権利を取り上げる形になってしまっている現状が歯がゆくてなりません。しかしこのような状況の中でも時は流れ、今日が終わり、明日が来ます。それは誰にとっても平等でどんなに世界情勢が不安定だろうと変わることはありません。今日は唯一の今日であり、振替はないのです。予備日や待機日のように過ごすのではなく、一日一日を大切に全力で生きてほしいと願って止みません。来月より変則的ではありますが学校が再開します。しかしそれは決して警戒レベルが下がったからではありません。状況はむしろ深刻さを増していると言えるでしょう。学校再開は感染のリスク以上に君達の精神衛生と未来を考えてのことです。そのことを肝に銘じ、緊張感を持って生活するとともに以下のことを約束して欲しいのです。

『こまめな手洗いで自己防衛』

人は5分間に3回顔を触るというデータがあります。どんな感染症においても手洗いが基本です。

『換気の徹底』

いわゆるクラスター感染は、空気の流れない空間において、大勢が声を出すなどの条件が重なることです。皆が集まる学校では換気が徹底されていることが絶対条件です。

『十分な睡眠と適度な運動』

免疫力を上げて心身ともに丈夫でいてください。早朝のジョギング・ウォーキングは最高ですよ。

『咳エチケットで感染を広げない配慮を』

特に今回流行している新型コロナウイルスは若い人には強い症状が出にくく、高齢者ほど命に関わる重篤化が報告されています。君達が知らず知らずのうちに感染を広げてしまわないとも限りません。小さな配慮が世界の安全に繋がります。

残念ながらおそらくまだまだ長い間、誰にも先が見えず感染しない保証もない不安な日々が続きますが、君達が上記の約束をよく理解して実践してくれると信じています。花見客がいてもいなくても全力で咲き誇っている桜のように、二度とない今日という日を“本番”として大切に生きてください。私たちは全力でサポートします。

城西川越中学校
城西大学附属川越高等学校